



『対話型ファシリテーション』を用いた 途上国の人々との話し方

日時：2017年 **7月22日**（土曜日）

10:00～17:00

場所：お茶の水女子大学本館 **135室**

講師：前川 香子氏

認定NPO法人ムラのミライ・海外事業チーフ



【講座概要】

国際協力の現場における課題発見・解決を促す実践的な手法である「対話型ファシリテーション」を学び、現場に存在する根本的なニーズの把握や、その結果の外部者による援助の在り方への影響といったことを疑似体験し理解することを目的とします。国際協力の場で、途上国の人々と協力者が対等な関係をつくり、当事者自身による課題発見、解決を促す実践的な手法について学ぶとともに、当事者主体の参加型開発について考える機会とします。

全学共通科目「国際共生社会論実習」の履修者は授業の一環とします。



【講師プロフィール】

1979年京都府生まれ。宇都宮大学卒、名古屋大学大学院修了。児童労働に関する修士論文の調査で訪れた南インドの大都市チェンナイで、農村と都市は繋がっていることを感じる。同時に、日本にも子どもの問題は山積みだと思い、長野県のNPOで1年半、フリースクールと村おこしの活動に携わるが、農村と都市の課題は個別では解決できないと感じ、「地域の課題は世界の課題」を謳っていたムラのミライ（旧称ソムニード）にインターンとして2005年に入職。2006年から正職員・インド駐在員として勤務し、現在に至る。（NPO法人ムラのミライHPより引用）

対象者：お茶の水女子大学学生（学部、大学院、研究生）、他大学の女子学生（学部、大学院）**45名程度**
※他大学は1校につき5名程度までとさせていただきます。

申込み期限：7/7(金)@国際交流センター

